

案件1. 補助金交付確定にかかる事業報告書審査

(最初に事務局より事業報告概要説明)

登録番号1番 NPO法人幸せな家庭環境をつくる会京阪奈支部

事業名 木こころ運動 子育て・高齢者につみ木を届ける事業

【事務局】

この事業は市民の選択の届出結果を受け、9月に事業縮小の変更申請をされたものです。さらに実施段階では、ボランティア保険を自己負担にするなど経費の削減をはかれ、29万1,298円の決算額となり、交付確定予定額は、決定額どおりの6万9,049円としています。

登録番号3番 いこままプラス

事業名「みんなで来てね! いこまま親子コンサート」

【事務局】

家にこもりがちな高齢者や育児中の人気軽に参加できるコンサートを開催されました。また、ママさんプラス体験として、演奏者を募集し、7名の方がコンサートで演奏する機会を得られました。この事業も、9月に事業縮小の変更申請をされましたが、さらに報償費や印刷製本費の削減により22万9,123円の決算となりました。交付確定予定額は、決定額どおりの10万3,229円としています。

登録番号4番 生駒市グラウンドゴルフ協会

事業名「第2回市民グラウンドゴルフ大会」

【事務局】

会員261名、会員外の市民112名、合計373名の参加者で昨年に続き開催されました。決算額のうち支援対象経費額の削減に伴い、交付確定予定額は決定額より140円減の7万8,560円としています。

登録番号8番 グリーンボランティア「いこま宝の里」

事業名「“森と遊ぼう”里山体験イベント」

【事務局】

昨年に続き、イモ山公園で小学生の子どもたちを対象とした里山イベントを実施されました。項目間の増減はありましたが、総額としましては450円増の10万450円の決算となり、交付確定予定額は決定額どおりの5万円としています。なお、この事業は奈良県地域貢献活動助成事業としても採択されています。

登録番号9番 アトリエくじらのクー

事業名「障がいを持つ子どもたちためのワークショップ」

【事務局】

紙粘土造形、写生会、作品展の3つのプログラムから成る事業でした。3回目の作品展で保護者とのディスカッションを予定していましたが、会場との使用調整の過程で中止することとなり、結果、

参加費は徴収せず、個別相談に変更されました。決算額は2万6,208円の増額で8万6,308円となり、交付確定予定額は決定額どおりの3万円としています。

登録番号15番 鹿ノ台納涼祭実行委員会
事業名「地域ぐるみ鹿ノ台納涼祭」

【事務局】

2日間のうち初日は雷雨のため途中中止とし、花火など、翌日に前日分も含めて実施されました。項目間の増減はありますが、総額としては1万8,402円増額の365万8,402円の決算となり、交付確定予定額は決定額どおりの50万円としています。

登録番号24番 高山盆まつり実行委員会
事業名「高山盆まつり」

【事務局】

昨年に続き、支援対象事業を行いました。予算計上時からの支出項目変更による項目間の増減はありましたが、総額としましては1万2,619円増額の286万2,619円の決算となり、交付確定予定額は決定額どおりの50万円としています。

登録番号26番 ひだまり家族会
事業名「ひだまり芋ほり会」

【事務局】

精神障がい者及び家族と市民との交流を目的とした屋外プログラムを実施されました。一旦、植えたイモ苗が枯れ、再度、購入したため、消耗品費が予算の2倍以上の支出となりました。他の項目で削減され、決算額としては2,198円の増額で2万3,838円となり、交付確定予定額は決定額どおりの1万820円としています。

登録番号27番 生駒フットボールクラブ
事業名「生駒FCスポーツ少年団地域交流大会」

【事務局】

予算計上時からの支出項目の変更による項目間の増減がありました。食料費の削減などにより、総額として2万4,826円減額の9万5,174円の決算となり、交付確定予定額は、決定額から9,778円減額の3万222円としています。

以上、実績報告書提出9団体の概要説明であります。御審査のほど、よろしく願いいたします。

(以下、各団体ごと審査概要)

登録番号1番 NPO法人幸せな家庭環境をつくる会京阪奈支部

【上田委員】 1番の木こころ運動ですけれども、9月段階で規模の縮小をされたということで、その際に、積み木制作を業者からボランティア、団体の有志でお作りになるというような変更だったと思います。贈呈団体も10から8に減少しますということでした。この完了報告でいきますと7月20日から8月10日の間に、8団体に各2,000個を贈呈しているということですが、9月の変更の段階で、8月中には2,000個は配っていたということになってますが、その辺は、業者委託

からボランティアへの変更の時期と合わない、その点は何か聞き取られていますでしょうか。

それから、送付の郵券代、通信運搬費で6,084円が対象経費になっていないですが、これは領収書がなかったからですか。もう1点、コピー用紙の領収書が、住宅会社からコピー用紙を買ったということになってますが、少ししっくりこないというのがあります。

【事務局】 まず、贈呈先が10団体から8団体に減った理由ですが、7月から8月の半ばにかけて市民選択の届出期間でした。この間の届出の中間報告というものは事務局からはしてません。ただ、団体の方で手ごたえなどを考えられた結果、10団体分の事業の実施は難しいということと、10団体をめどに募集したにもかかわらず、結果的に8団体の募集だったということで、それ以上、募集をかけなかったという説明を聞いております。

あと、通信運搬費につきましては、領収書がございませんので、支援対象経費枠はゼロとしています。また、ボランティアについては、実際には20名ほどのボランティアが活動されたという報告は受けています。

【上田委員】 積み木はボランティアの方が作られたのではなくて、霧島住宅へ業者発注したということですね。額が75万円ぐらいかかるものを24万円ぐらいでやっていただいたということですか。

【事務局】 そうです。木材代、木材を機械を用いて企画寸法に切断する加工代、その加工したものの運送代が委託料の中に入っています。

【上田委員】 9月段階でボランティアでやりますとなっていたので、実際、8月10日に2,000個が配られているのは整合性がとれないかなど。

【事務局】 ボランティアで実施するとおっしゃっていたのが、積み木フェスティバルのときのスタッフです。

【仲川副会長】 積み木の角をペーパーで削るとかおっしゃってましたね。

【事務局】 サンドペーパーで角を丸くする加工は、積み木を受けられた団体さんが担うということで、計画のときから聞いています。

【上田委員】 そうすると、その制作というのは切る作業……。

【事務局】 材料の準備から、購入、一定の積み木の大きさに切り、2,000個入る木の箱を作ることです。この事業の目的として、木に触れ合うということも目的としています。完成品を配るだけではなく、真四角のものを丸めるということは、団体さんでやるということ。あと、積み木2,000個を箱に入れ並べるなどの作業は、ボランティアの手でやっていると聞いています。

【上田委員】 結局、額が抑えられているのであれば結構ですが、変更申請のときと合わないなと思いましたので、気になったところです。

執行に当たってはきちんとされていると思います。その点については全然問題はないですが、変更申請の流れが見えませんでした。

【谷野委員】 コピー用紙の件ですが、一般的な文房具店ではない会社から何枚買っているかという処理の理由、本来の文具店で買うより安く売ってもらっているとか、そういうメモとかあった方がいいかと思います。ただし、なるべく一般的なお店から買うよう指導は必要です。

登録番号3番 いこままプラス

【上田委員】 体験コーナーの参加者対応で6万3,500円使っていて、総額が22万9,123円。30%近くがこの体験コーナーとなっています。場所を借りて、指導者の経費とか、体験コーナー

参加者の練習とかに使われているような気がします。そのことではなく、そういう体験者の今後の活用ですよね。今回の事業でここまで育った。そういう方々を来年度も継続して使っていけるようなことを考えていただいているのかなという感想を持っております。

【事務局】 実際には、内訳のところには体験会指導と報償費に書いてあるのと、使用料及び賃借料の中で体験会会場と書いてありますが、別の報告書と照らし合わせる中で、体験会参加者だけのパート練習はしてなくて、体験者7名を交えた全体の練習だったということです。

【上田委員】 体験会の指導をされていたのですか。

【事務局】 体験者の7名を含めて、その7名用の楽曲の練習を全員でやったという内容になっています。

今回、体験会の体験者が参加する楽曲が全体の中で幾つかありまして、それ以外のレパトリーについては、毎回、演奏しているものなので、特に会場費とかを使わずに実施されてますが、新しく7名を迎えての楽曲については、この事業費の中でと聞いています。また、7名についても、今後、いこままブラスのメンバーとなって活動をしていくということでお声かけをしているということです。

【谷野委員】 指揮者の方ですが、どういう方かというのはパンフレットにあっているのですが、領収書が気になりました。領収書は、印鑑はなくてもいいので、できたら自筆のサインをいただくようにした方がいいかと思います。金額だけ書いて、できたらサインをいただく方が確実かなと思います。

【事務局】 サインの場合、押印は必要ですか。

【谷野委員】 押印はなくても、サインであればそれでいいと思います。結局、最初から印刷されたものに印鑑を押しているよりは、サインをいただく方が、後での突き合わせのときに本人様の確認ができますので。

【中田委員】 使用料及び賃借料で駐車場代700円が対象外となっておりますが、必要な経費かと思えます。

【事務局】 この支援制度の申請書を出すために使われた駐車場代でしたので、省きました。

登録番号4番 生駒市グラウンドゴルフ協会

【上田委員】 会員だけの大会になるのではないかと心配をしてましたが、一般の方が112名も参加されたということによかったと思います。

登録番号8番 グリーンボランティア「いこま宝の里」

【上田委員】 奈良県の地域貢献活動としての事業補助も受けています。県には事業実績はまだあがってきてませんが、その中で、生駒市支援金が5万円、事業収入が3万1,200円、自主財源と県の助成金、9,625円ずつとされています。県の助成金においても、生駒市で5万円でしたら、残りを半分見ます。ただし、事業収入がある場合で、それが半分を超えている場合は、その超過分を控除するということになりますので、県助成金が9,625円ではなく、1万9,250円となりますので、これについては、団体にこちらから言わせていただこうと思います。

ただ、生駒市さんの助成額自体には影響がないかと思えますので、これはこれでしていただいたら、団体さんにとっては有利な形になると思います。

登録番号9番 アトリエくじらのクー

【上田委員】 賃金・講師料が3回分となっていて、これは展示会も含めた講師料だと思いますが、これが展示だけになってしまって、参加料も徴収しなかったということですが、この分についての講師料は見るということで大丈夫ですか。

【事務局】 実際には、ワークショップには参加できなかったけれども、個別相談もその会場でされてました。

【上田委員】 会場の使用料が当初2回で、スケッチは野外でしますということだったと思いますが、今回、3回になっているので、スケッチ自身も屋内で実施されたということですか。

【事務局】 会場はふろーらむを使われました。大変暑いということも想像されましたので、屋内の会場も押さえて、外でスケッチをしながら、しんどくなったら屋内で休むというように会場を使われたと聞いております。

【谷野委員】 チラシをたくさん配ったけど人が集まらないとのことですが、すごくいいことをされているので、例えば障がい者さんの施設とかとの連携とかは考えておられないですか。

【事務局】 この団体は参加者募集に関して早くかららポートにもお越しになられ、市内にはどのような施設があるかという情報を探しておられました。また、ららポートが持っている情報媒体、ツイッターや情報メールサービスにも積極的に情報提供されて、随分、集客に関しては力をいれてました。

団体から、障がいがある子どもたちと健常の子どもたちを、同じように対象としたことが難しかったとの感想がありました。障がいがある人にとってはハードルが高いと感じられてしまった、また、健常の人にとっては障がいがある人とは一緒に活動はしにくいという感想が団体さんの方に届いたということです。

ただ、団体としては、生駒では今回初めてのワークショップでしたが、神戸や大阪などで実績を持っておられます。回を重ねていくことで団体の活動を知ってもらえば、だんだんニーズも高まっていくのではないかとの感想も聞いております。

【仲川副会長】 奈良では障がい者のアート、芸術活動をしているたんぼぼの家があるので、何か参考に聞きに行かれたり、あるいは、ドッキングされたりしたらどうかと思います。

登録番号15 鹿ノ台納涼祭実行委員会

【上田委員】 支出項目の内訳書がありまして、抽せん会の景品代と出演者謝礼が49万2,000円と14万6,000円になっています。内訳がありますが、結局、子供会の5,000円をどっちに見るのかということで違っているのかという気がします。出演者謝礼が14万6,000円であれば、謝礼14万5,000円と、司会者旅費の1,000円で14万6,000円で、子供会の5,000円は景品代の方に入っていると思います。そうすると、景品だと対象経費に見られないということで、実際の金額の3万5,000円というのは、司会者の3万円と、子供会の5,000円かと思います。ですので、48万7,000円と15万1,000円になるかと思いますが、そもそも子供会の謝礼ですが、ポスターの何らか謝礼と書いてますが、これは本来の謝礼になじむ謝礼なのかどうなのかと。

【事務局】 ポスターを作ったものを子供会の役員の方が手分けして、お店や、それぞれの家とか公園とかで張れるところを探して、みんなで張り回ったという説明を受けてます。

【上田委員】 そういうことですね。では、謝礼でいいかと思います。

【谷野委員】 会場設営等で150万円の委託をしていますが、ここと決めてるのか、数社から選ん

でいれるのかわかりませんが、見積書があればいいと思います。

【中田委員】 基準等があったほうがいいのでしょうか。

【事務局】 金額の面の大小ということもありますが、この実行委員会の総会などの会議において一定の組織の合意を得て契約、執行をされておられると理解しています。組織内の合意を図られた中における金額の執行ですので、基準を一概にどうしたらいいのかというのは、難しいところがあると思います。

登録番号24番、高山盆まつり実行委員会

【上田委員】 選定するときも言ったかと思いますが、継続的にされている団体は説明しようという意識がかなり薄いという印象があり、この実績報告書を見ても、どういう祭りであったかというのがよく分かりません。パンフレットやチラシなど、この祭り自体がどういうふうに行われたか分かるような資料の添付を求めていただければという気がします。

あと、印刷製本費ですが、封筒の印刷1,000枚というのがありますが、何に使われる封筒なのか、用途がどういうことに使われたのでしょうか。

あと、収支決算書のところの消耗品費でプログラム、ポスター用紙等と書いていまして、領収書でもポスターと印刷及びラミネート加工、インク代として5万5,560円とあり、印刷するためのインクを買ったのか、印刷しているのかというのがよく分かりませんでした。

【事務局】 封筒の印刷代ですが、来賓の方等に案内を送る分です。ずっと祭りをされてきた実績があり、そのときには過去の分のストックで対応できたのですが、今回、そのストックが切れてしまい、今後も実施していくので、少し多目に作ったという話をされていました。5万5,560円については、ポスターの印刷と、それに伴うインクにかかる分の購入も一括してされたということを聞いています。

【上田委員】 それだと、印刷製本費になりますね。

【事務局】 来年度もできればこの制度に申請したいという意向を持ってましたので、申請の際にはきちんと項目分けはしましよと団体側には伝えております。

【谷野委員】 上様の領収書が入っているのがあると、景品代としてまとめて金額がありますが、領収書をもらおうと内訳が出なくなるので難しいところですが、レシートがあった方が何を買ったか分かるし、中に何を買ったかというのが分かるようにした方がいいかも知れません。

【事務局】 今回、多様な領収書を事務局で確認することが非常にありまして、どこまでが有効とすべき内容のものなのか、合間合間に谷野委員に直接電話させていただき、対応したのですが、団体の方からは非常に事務が煩雑で対応できない、2万、3万の補助金額でここまで、ましてや半額補助という中でという声は非常に届いてますので、本来、団体が公益活動をしていただくことがあくまでも目的ですので、その目的からはぐれないようにしながら、公金を扱うということも含めて、どういう書類の整理と基準を設けるかということも25年度に向けて考えていきたいと思っています。

登録番号26 ひだまり家族会

【上田委員】 追加苗というのは、一旦枯れてしまったからということですね。

【事務局】 5月に一旦イモ苗150本ほど植えられたのですが、初めての試みということもありまして、その多くが枯れ、翌月にもう一度、100本購入され植えかえをされました。

【上田委員】 2万3,000円の事業で、ポスターのイラスト代5,000円かかっていますが、団体の活動としてはもう少し違うところにお金を使われた方がいいのではないかと思います。あくまで感想です。

【事務局】 募集要項や説明会も通じて、団体が事業を実施するときにはこの支援制度の名称も入れてPRしてくださいと伝えたのを受けとめて、当初は予定してなかったチラシを作ってくださいました。

登録番号27番 生駒市フットボールクラブ

【上田委員】 実施予定日が雨天のため中止し延期して実施になったようですが、それまでの準備経費と、延期で行われる準備経費とがあって、うまく対応されたんですね。

【事務局】 事前に準備をするものの中で、腐るものというのがなかったので対応できたのかなということと、連絡網はメールなどでやっているケースが多いようで、通信運搬費が2,000円から減っているというのも、当初、切手代を想定してたのですが、緊急な場合の連絡というのも、ほとんどお金をかけずに連絡していたようです。

【上田委員】 学校のグラウンドを借りておられ、使用料も要らない。唯一、飲料水だけが何か、前に買ってあるものを後から買い足した分がありますけど、ロスはなかったと拝見してました。

奈良県の助成事業でも、雪中中止になったものがあります。当日できない、延期もできないという状況でした。

【事務局】 例えば奈良県では、助成事業を延期をされた場合に、2倍の経費がかかった場合は、最初の決定額が上限だとは思いますが、必要経費としてはどう扱れるのでしょうか。

【上田委員】 延期しなかったもので、その議論はしてませんが、実際、中止になったので、検討した結果、かかった経費に対しては結局は支払う方向で話しをしています。当日の判断として、中止になりましたが、景品等を用意されてました。当日、皆さんに集まってもらい、雪かきをして、事業をやろうとして努力してましたが、、どんどん雪が降ってきたため、安全性を考慮して中止という判断をされ、その場で交流会を開催して、景品も抽選にして皆さんにお配りされたということなので、事業としては完遂していると。スポーツ大会だったのですが、スポーツはしていないけれども、交流会の中で地元の方と触れ合えたということなので、趣旨は完遂したということでお支払いしようということで話を進めています。

【事務局】 もし参加者が来られなかったらという議論はされましたか。

【上田委員】 していません。とにかくこの事例だけをどうするかということでした。

案件2. 平成25年度支援対象団体募集について

【事務局】 募集要項案説明。意見等あれば2月8日金曜日まで連絡依頼。

先ほど谷野委員からお話があったように、領収書のサイン、住所などにつきましては追記させていただきます。

【谷野委員】 自主財源の内訳で、例えば寄附金、協賛金、自治会からだったら会費とか、いろいろあると思いますが、その辺の書き方も指導していただけたらと思います。

【事務局】 個別の団体の申請書の提出の際に、生駒市の支援金以外の事業収入の根拠についてお尋ねをしながら、この項目について適正な内容で書いていただくようにします。 以上